

令和7年度

山梨大学教育学部

附属教育 実践総合センター

CENTER FOR EDUCATIONAL RESEARCH

育
む
た
め
に
。

次
代
の
芽
を
、

学
び
続
け
る
。



ぼくは川
真赤な月にのち
砂漠のなかに渴い
それでも雲の影うかべ
さかなのうろこを光らせて
あたらしい日へほとばしる

ぼくは川
じわじわひろがり
背をのばし
土と砂とをうるおして
くねってうねって ほとばしり
とまれ

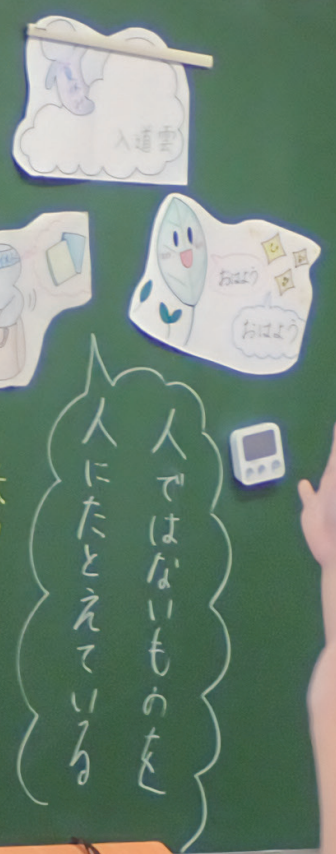
阪田 寛夫

めあて
「ぼくは川」をよんで感じたことを表そう

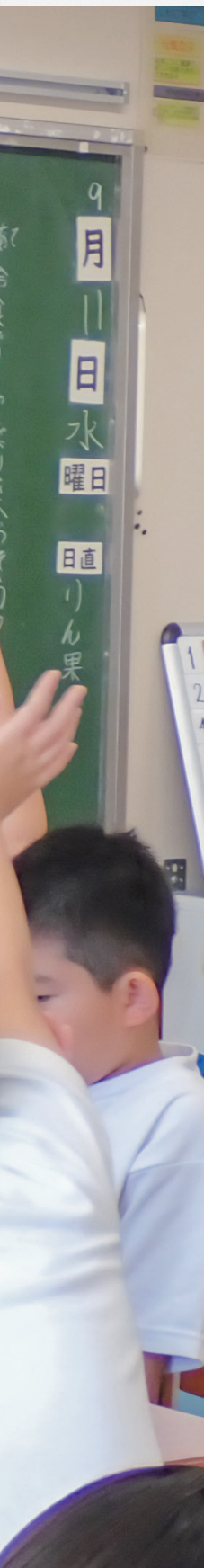
。伝わりやすい
。ユーモア
。詩っぽくなる

人ではないものを
人にたとえている

入道雲
おはよう
おはよう



はば
せいちょう
していき
広がっていき



CENTER FOR
EDUCATIONAL
RESEARCH

OUTLINE

山梨大学教育学部 附属教育実践総合センターの概要

概 要

山梨大学教育学部附属教育実践総合センター（以下、実践センター）は、山梨県内の教育現場が直面している様々な今日的課題に対応するとともに、教員育成機能の高度化を図るため、教育学部・教職大学院・附属学校園・山梨県教育委員会・県内教育関係機関・地域との緊密な連携・協働により、各種調査・研究・教員養成・育成事業を推進すること、その研究成果を学校運営、授業実践、教員育成等に還元することを目的としています。

組 織

実践センターでは、教員養成・育成・附属学校園等の課題に確実に対応できるように、「教員育成推進部門」「附属学校園共同研究部門」「教育実践研究部門」「教職支援部門」の4つの部門が組織され、部門において「教育相談室」「やまなし情報教育推進室」「教職支援室」が運営されています。

山梨県教育委員会との「連携協力に関する覚書」締結による事業推進

山梨県教育委員会と山梨大学教育学部は、平成29年3月に「山梨県教育委員会と山梨大学教育学部との連携協力に関する覚書」を締結しました。これにより、教育の諸課題に対する研究・協議や教職員の研修を、県と大学が相互に連携協力しながら実施できるようになりました。実践センターでは、関係教員が「山梨県教育委員会と山梨大学教育学部との連携協議会」「同協議会・情報教育推進部会」「全国学力・学習状況調査等のデータ分析」等の協議への参加や「中堅教諭等資質向上研修」講師を務めるとともに、「子どもと教師の成長を結ぶ教育評価研修会」「初任者研修等における山梨大学教育学部教員の派遣」「期間採用者等研修」等研修事業の運営に関わっています。

INDEX

P04 学部長・教育長からのメッセージ
P05 実践センタースタッフ紹介
P06 教員育成推進部門
P07 附属学校園共同研究部門

P08 教育実践研究部門
P10 教職支援部門
P12 刊行物・広報活動、
プロジェクト紹介

メッセージ



山梨大学 教育学部長
長谷川 千秋

山梨大学教育学部は、平成元年に教員養成と教員育成の質的向上を目的として附属教育実践総合センターを設置し、実践的教育と研究の推進を行ってきました。その後、より現代的な教育課題に対応した教員養成・教員育成を行うため、山梨県教育委員会との連携を深め、平成29年3月に「山梨県教育委員会と山梨大学教育学部との連携協力に関する覚書」を締結しました。

教育の質向上を目的とする山梨県と大学の緊密な連携協力関係において、附属教育実践センターは学部の要であり、時に学部の先導役を担っています。〈教育実践研究部門・情報教育研究領域〉では、学校でのICTを用いた新たな学びの質を高めるため、山梨県の助成により令和5年10月に「やまなし情報教育推進室」を開室しました。ICT活用・情報教育において校種間で一貫性のある「やまなしメソッド」という独自のカリキュラムを開発、情報免許法認定講習の開講、個別最適な学びと協働的な学びの実現や「情報I」の授業づくりに資する「オンライン動画研修コンテンツ」の制作・普及展開などに従事しています。

〈教職支援部門〉では、全国的な教員需要に対応するため教員就職者を増やす支援を行っています。令和5年度は教員就職率②(卒業者数から大学院進学者と保育士への就職者数を引いた数を分母とし、教員への就職者数を分子として表した割合)は69.0%となり、全国の国立教員養成大学・学部の平均と並び、全国ランキングでは19位となりました。〈教員育成推進部門〉では、急増する初任者への対応として初任者研修への大学教員派遣事業を、〈附属学校園共同研究部門〉では各学校園の研究・研修支援として附属学校園教員の派遣活動などを行っています。

センターは、引き続き山梨県の教育の未来のため、さらなる充実を図っていきたいと考えています。今後ともご支援・ご指導を賜りますようよろしくお願いします。



山梨県教育委員会 教育長
萩野 智夫

山梨大学教育学部附属教育実践総合センターは、平成元年の開設以来、30年以上にわたり関係機関との連携の下、地域に密着した様々な活動を展開し、教職を目指す学生や現職教員の支援に努めていただいております。また、平成29年には、山梨大学教育学部と山梨県教育委員会との間で「連携協力に関する覚書」を締結し、教員の資質・能力の向上のための研修や教育諸課題に対する研究・協議を相互に連携協力して取り組んでいただいておりますことを、県教育委員会として心から感謝申し上げます。

さて、少子化やグローバル化の進展、AIなど情報化の目覚ましい発展など、先行きが不透明で将来の予測が困難な時代の中、学校教育には誰一人取り残されことなく、全ての子供たちの可能性を引き出す教育を実現することが求められております。そのためには、「デジタル学習基盤を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを充実させ、「主体的に学び 他者と協働し 豊かな未来を拓く」人づくりを推進することが必要です。

このため、県教育委員会では、「やまなし教員等育成指標」に基づき、教員のキャリアステージに応じた研修を計画・実施し、教員の資質・能力の向上を目指しています。しかし、現在の学校教育には多くの課題があり、これらの課題解決には、附属教育実践総合センターの先生方のご指導やご助言が必要です。

県教育委員会としては、引き続き、教員養成及び人材育成にかかる附属教育実践総合センターの専門的な助言を参考にし、教職員が全ての子供たちの豊かな学びについて考える機会をつくり、山梨の学校教育の基盤を強化して参りたいと思います。

今後も附属教育実践総合センターにおいては、教育行政や各学校と密接に連携し、本県学校教育のより一層の充実に向けた取り組みを推進していただけるようお願いいたします。

スタッフ紹介 (令和7年4月現在)



センター長
情報教育推進室長
教授(教育実践創成講座)
新野 貴則
Takanori NIINO



教員育成推進部門
附属学校園共同研究部門
特任教授(情報教育推進室兼任)
中込 司
Tsukasa NAKAGOMI



教育実践研究部門
客員教授
小川 弘一
Koichi OGAWA



教育実践研究部門
客員教授
小尾 一仁
Kazuhito OBI



教育実践研究部門
客員教授
河西 美代司
Miyoji KASAI



教育実践研究部門
客員教授
桐原 ひかる
Hikaru KIRIHARA



教育実践研究部門
客員教授
河野 瑞穂
Mizuko KONO



教育実践研究部門
客員教授
田之口 晃士
Koji TANOGUCHI



教育実践研究部門
客員教授
廣瀬 学
Manabu HIROSE



教育実践研究部門
客員教授
保坂 伸
Shin HOSAKA



教育実践研究部門
客員教授
三井 正彦
Masahiko MITSUI



教育実践研究部門
准教授
専任教員(情報教育推進室)
三井 一希
Kazuki MITSUI



教育実践研究部門
准教授
専任教員(情報教育推進室)
稲垣 俊介
Syunsuke INAGAKI



教育実践研究部門
准教授
専任教員(教育相談室)
渡部 雪子
Yukiko WATABE



教育実践研究部門
教授(教育実践創成講座)
萩原 佳子
Yoshiko HAGIHARA



教育実践研究部門
教授(教育実践創成講座)
渡邊 昭二郎
Shojiro WATANABE



教育実践研究部門
准教授(教育実践創成講座)
樋川 裕幸
Hiroyuki HIKAWA



教育実践研究部門
准教授(教育実践創成講座)
笠井 さゆり
Sayuri KASAI



教職支援部門
部門長
教授(生活社会教育講座)
志村 結美
Yumi SHIMURA



教職支援部門
副部門長/教職支援領域SL
准教授(科学教育講座)
佐々木 智謙
Tomonori SASAKI



教職支援部門
教職支援領域GL
教授(芸術身体教育講座)
関口 浩文
Hirofumi SEKIGUCHI



教職支援部門
学生カルテ・分析領域GL
准教授(教育実践創成講座)
杉山 雅俊
Masatoshi SUGIYAMA



教職支援部門
学生カルテ・分析領域SL
准教授(科学教育講座)
山際 基
Motoki YAMAGIWA



教職支援部門
地域学習アシスト領域GL
准教授(やまなし小学校教員講座)
田中 健史朗
Kenshiro TANAKA



教職支援部門
地域学習アシスト領域SL
教授(教育実践創成講座)
東海林 麗香
Reika SHOJI



教職支援部門
教育ボランティア領域GL
教授(やまなし小学校教員講座)
大野 歩
Ayumi ONO



教職支援部門
教育ボランティア領域SL
准教授(障害児教育講座)
永田 真吾
Shingo NAGATA



教職支援部門
教職支援室長
特任教授
望月 主税
Chikara MOCHIZUKI



教職支援部門(教職支援室)
客員教授
芦澤 秀幸
Hideyuki ASHIZAWA



教職支援部門(教職支援室)
客員教授
柴田 幸也
Sachiya SHIBATA



教職支援部門(教職支援室)
客員教授
小林 新吾
Shingo KOBAYASHI



教職支援部門(教職支援室)
客員教授
玉島 正隆
Masataka TAMASHIMA



教職支援部門(教職支援室)
客員教授
有賀 望
Nozomu ARUGA



教職支援部門(教職支援室)
特任助教 学生カルテ・分析領域、
地域学習アシスト領域補佐官
倉茂 花苗
Kanae KURASHIGE

【事務職員】

センター事務室(事務補佐員1名)、
教職支援室(一般職員1名、キャリア・アドバイザー1名、事務補佐員2名)

教員育成推進部門

「学び続ける」学生・教員を支え、育てます

教員育成推進部門は、教職を志す学生と現職教員のキャリアステージに応じた学びや成長を支えます。また、山梨県内の教員養成の中核大学として、意欲と実践力の高い教員の養成、研修・研究の企画・実施、教育課程の開発等、教育現場の様々な活動を支援します。



実習前教師力養成講座（辻本講師によるグループワーク）

学生・大学院生に 教育への情熱と実践的指導力、人間力を備えた教員の育成

- 「やまなし教員等育成指標」に基づく教員養成のための教育課程の開発、授業改善
- 実習協力校、教職大学院連携協力校、附属学校園と連携した実践的指導力を高める教育実習の企画・実施

現職教員に 「やまなし教員等育成指標」のキャリアステージに応じた、資質能力向上のための研修の企画、実施

- 山梨県教育委員会、総合教育センターと連携した研修の企画・実施
 - ・ 中堅教諭等資質向上研修等の経年研修や教科等の研修をサポート
 - ・ 子どもと教師の成長を結ぶ教育評価研修会「※OPPA」の実施
- 現職教員の指導力向上のニーズに応える多様な研修機会の確保
 - ・ 初任者研修等における教育学部教員の派遣
 - ・ 最新の教育の課題に即した教育フォーラムの実施
- 県内市町村（組合）教育委員会との連携の強化
 - ・ 市町村（組合）教育委員会の独自の取組をサポート



教職大学院生による公立学校での実習



第44回教育フォーラム（笠井講師）

関係機関との連携窓口 山梨県教育委員会・山梨県総合教育センター等との連携・事業推進

- 県内教育関係機関との連携・協働に関わる連絡・調整、企画・推進

※ OPPIA とは、One Page Portfolio Assessment の略で、「一枚ポートフォリオ評価法」と呼ばれる、元山梨大学副学長の堀哲夫山梨大学名誉教授の開発した、学習者の成長を外化し教師の授業力向上につなげる評価方法です。

附属学校園共同研究部門

附属学校園の機能強化を図り、地域に根ざした学校園を目指します

附属学校園共同研究部門は、山梨の学校教育を先導するパイロットスクールとして附属学校園間・関係機関との円滑な連携体制を構築し、様々な事業を展開するとともに、附属学校園の特性を活かした先導的な実践等を通して、地域の学校園や大学の教育研究・教育活動を支援します。

地域の学校に 地域における指導的・モデル的な学校として県内の各学校園の取組を支援

- 地域のパイロットスクールとして、附属学校教員と学部教員が先導的・実験的に4校園共通のテーマで教育課題を研究し、その成果や課題を地域の学校に公開・発信
- 県内各学校園等の研究・研修協力のための研究・研修への協力・現職教員の指導力向上のニーズに応える附属4校園の教員派遣「とびだす!」
- 現職教員を対象とした講座「スキルアップ講座プラス」等を実施し、現職教員の実践的指導力向上のための研究・研修・実習の場を提供



附属小学校公開研究会



附属特別支援学校での教育実習

教員を目指す学生に 大学・学部の教育実習計画に基づく教育実習を支援

- 附属学校園と連携して教育実習や事前事後指導等を通して、教員になるための基礎的な資質能力を育むとともに、教職への思いと教育への情熱を高める取組を実施
- 今日的課題に対応できる資質能力実践指導の基礎を育む講座の実施
- 附属学校園と大学とをつなぎ、教育実習の円滑化、高度化を推進

地域に 地域と附属学校園との交流を推進し、地域に根ざした学校を目指す

- 「きりの華」(4校園だより)発行により、附属4校園の取組を情報発信
- 大学教員が専門性を活かした講座を保護者や児童生徒を対象に4校園で実施



若桐講座



4校園だより「きりの華」

教育実践研究部門

教育実践研究の成果を教員育成に活かします

教育実践研究部門では、学生・山梨県内の先生方・地域の子どもや保護者・学校、山梨県の教育に関わる様々な方に対して、教育実践、臨床心理、ICT 活用・情報教育等の専門的な観点から、多様な事業を展開しています。



教育実践研究領域

教育実践研究の成果を学生や大学院生の教師力伸長に学校の教育力向上に活かします。

学生・大学院生に 教師塾プロジェクトの実施

「実習前教師力養成講座」の開催

- 7月と2月に実施（7月は主に3年生を、2月は主に2年生を対象）
- 学校での指導経験豊富な講師
- 実践に基づく内容
- 間近に控えた教育実習へのヒント



実習前教師力養成講座3年
(辻本講師によるグループワーク)

「模擬授業室」の開設

- N-21教室、M-304教室に開設
- 模擬授業や教材研究の場として 学生や院生の主体的な活用を期待

メンタルサポートの実施

- 教育実習委員会と連携し、実習時の心身の不調に対するサポートを実施（必要に応じてカウンセリングや実習校との調整を行う）

「教員就職直前講座」の開催

- 2月に実施、4月から教職に就く学生・教職大学院生を対象
- 講師は現職の先生方等、知りたいことを心置きなく聞くことができる内容

「ACTION PLAN」の配付

- 先輩から1年生へ教職イベントのインフォメーション、入学後に配布
- 大学生から高校生へ大学生活紹介、オープンキャンパスで配布
- 自己実現のための主体的な活用を期待

学校・現職教員に 「連携・教育研究会」の開催

- 山梨県総合教育センターと連携
- 同センター研究支援校への研究面での協力

「期間採用者等研修（教師力スキルアップ研修）」の開催

- 5月に実施、山梨県教育委員会と連携
- 研修の機会が十分でない期間採用者等の若手教員や学生・大学院生を対象



実習前教師力養成講座2年
(渡井講師)



模擬授業室
活用風景

受講者の声

- ・ 学習内容に関して、「見方」の提示次第で様々な視点に気づき、子供たちの「もっと学びたい!」につながることを再認識しました。
- ・ 特別支援教育に関するお話は、何度聞いても新しい発見があるので参加して良かったです。特別支援学級の担任を経験することで、通常学級の多様な子どもたちへの見方や接し方が変わるのではないかと感じました。

✓ 教育臨床研究領域

不登校・いじめなどの学校教育における今日的課題に対する支援方法を臨床心理学的観点から研究し、幅広い教育相談活動の実践を行います。

県内の児童・生徒・保護者・教職員に 子どもと親と教師のための教育相談事業

- 山梨大学教育相談室は山梨県教育委員会と山梨県教育四者と連携し、児童・生徒や保護者の方から不登校、いじめ、発達面、親子関係等の相談、現場の教職員の方から教育相談、生徒指導、学級づくり、学校での人間関係、メンタルヘルス等に関する相談やコンサルテーションを受付けています。
- 相談申し込み方法【相談無料、対面・電話・メール相談可】
実践センター HP の教育相談のページ (<https://www.edu.yamanashi.ac.jp/aepc/2303/>) をご確認ください、
山梨大学教育相談室 (kyoiku_soudan@yamanashi.ac.jp) までお申し込みください。
- 山梨県教育相談連絡協議会にて、研修講師を務めます。
- 不登校の子どもを支える保護者のための情報交換会を開催します。



教育相談

附属学校園の教員・児童・生徒・保護者に 教育相談室連絡協議会・カウンセリング・コンサルテーション

- 附属学校園の教育相談担当の教員とスクールカウンセラー、大学の教員による教育相談室連絡協議会を定期的に開催し、附属学校園における教育相談の質向上と連携に努めます。
- 附属学校園からの要請を受け、児童・生徒・保護者に対するカウンセリング、教員に対するコンサルテーションを行います。

県内の教員に 教育相談に関わる校内研修

- 学校からの依頼に応じ、教育相談に関わる校内研修の講師を務めています。

✓ 情報教育研究領域

「やまなし情報教育推進室」の事業を担い、
1人1台端末とクラウド環境を活用した教育 DX の推進を支援します。

学生・大学院生に ICT活用・情報活用能力の育成支援

- 教職科目、学校図書館司書教諭科目、博物館学芸員科目、大学院科目において ICT や情報メディアの活用に関する理論と実践について学べる科目の開講
- 高等学校「情報」免許課程の開講とカリキュラムづくり
- ICT 活用や情報活用能力をテーマにした研究へのアドバイス
- 情報機器やプログラミングツールの操作方法の支援
- ICT の活用をサポートする「ICT 支援学生」の養成と附属学校への派遣



情報教育研究領域の支援対象

学校・現職教員に 教育 DX の推進を支援

- 山梨県教育委員会や県総合教育センターと連携した情報教育に関する研修の実施
- 校内研究や校務 DX 推進のための助言
- 高等学校「情報」免許法認定講習の実施
- オンライン研修動画コンテンツの普及展開
- フォーラム等学習会の実施、やまなし情報教育推進室 Web ページでの情報発信

附属学校園に ICT 活用授業モデルの開発・授業への助言

- ICT 活用授業モデルの構築と県内の学校への展開
- 附属学校園での ICT を活用した授業への助言
- 附属学校園の ICT 環境整備や校務 DX 推進への助言

情報教育研究開発室



教職支援部門(教職支援室)

教職支援室は教員をめざす学生を全力で応援します

教職支援部門(教職支援室)では、学生が主体的に教職へのキャリアを積み重ねていけるように、進路に関する個人面談、教育ボランティア、地域学習アシスト等学校現場での活動の企画・運営や、教員採用試験対策講座・個別指導、教職支援のための教採データ収集分析を行っています。



教職支援領域

1年次から、卒業・修了後までを見据え、学部・大学院の教員
微典会(同窓会組織)と連携しながら支援を展開しています。

教員志望への意識喚起や教員採用に関する相談、教員採用試験対策まで幅広く支援

- 教員採用試験対策講座(教職教養・一般教養試験対策、個人面接、集団討議、模擬授業、場面指導、小論文対策)、
教員採用試験説明会の企画・運営、全国自治体の教員採用試験の変更点調査、一覧表作成
- 教員採用試験に関する個別指導(主に志願書の検討、小論文の検討、個人面接指導)
- 大学教員による個別指導(個人面接・模擬授業・集団討議指導 66人の学生に428回)
- 個人面談による進路調査(1~3年生全員(約390人)を対象)
- 教員採用試験合格体験記等の収集、情報提供
- 教採対策スケジュールの一元管理



4日間集中 教員採用一次試験対策講座

教職支援室における個別指導(令和5年10月~令和6年9月)

論作文指導回数	面接指導回数	志願書指導回数
1,087回	1,424回	93回
+		
総指導回数		
2,604回		
→		
22回		
1人あたりの指導回数		
実質指導人数118人		
指導時間は1回につき約1時間		



学生カルテ・分析領域

個に対応するきめ細かな支援を目指し
データ収集と分析をしています。

教職キャリア・ポートフォリオ・システムが学生の自主学習をサポート

- 学生がスマートフォン上で、自身の学習状況を把握することや、学んだことを記録・振り返ることができる
デジタル・ポートフォリオ「キャリポ(教職キャリア・ポートフォリオ・システム)」
- 「キャリポ」は、成長するアバター、先輩のメッセージ、各種対策講座申込みなど
学生にとって便利で楽しい機能が満載
- 進路希望や進路状況等の調査(3~4年生・大学院生・専攻科生)と教員採用試験結果等の分析



☒ 教育ボランティア領域

学生が教育現場で子どもとふれあう
「教育ボランティア活動」を支援します。

学生と受入先との橋渡し役、多様なボランティア活動が両者にとってプラスとなるよう支援

- 学生と受入先のマッチング
- ガイダンス（前期・後期）、スタートセミナー、報告会の企画・運営
- 教育ボランティア受入先訪問
- 教育ボランティアだより、教育ボランティア通信、ガイダンスブックの作成・発行

学生運営委員会の自主運営で、教育ボランティアと学生との距離がぐっと身近に

教育ボランティアの参加者数

H17～R6の実績

実質参加者数	3,356名 年間平均 167.8名
参加希望者数	4,663名 年間平均 233名



授業支援ボランティア

教員採用試験に
合格した83%の学生は
教育ボランティアに参加
しているよ



教育ボランティアガイダンスブック

☒ 地域学習アシスト領域

学生・大学教員・学校がともに学校現場の課題を共有し
解決策をさぐる本学独自の取組です。

教育ボランティア活動をベースに、その発展形となる新たな活動です

- 大学生と大学教員が小学校の学級に入り、担任の先生と相談しながら、学級の課題の改善のために児童の支援に入ります。
- 毎回の活動後に、大学で、大学生、教職大学院生、大学教員が「チームカンファレンス」を行います。
児童の行動分析や、かかわり方について意見交換を行います。
- 令和6年度は、小学校4校に学生8名がアシストに入りました。アシストは23回、カンファレンスは17回実施しました。(6月～2月)



アシスト5年間のあゆみ



カンファレンス



カンファレンス（分科会）

刊行物・広報活動、プロジェクト紹介

センター刊行物・広報活動

- ・センター研究紀要『教育実践学研究』発行(Web版、年1回)
- ・『センターだより』発行(Web版及び学内向けメールマガジン、年6回)
紀要目次・センターだよりバックナンバー
<https://www.edu.yamanashi.ac.jp/aepc/2306/>
- ・教職支援室Instagram(公式)
https://www.instagram.com/kyousyoku_yamanashi_univ/
- ・山梨大学教育学部「教育フォーラム」開催(学部の実践教育運営委員会と連携)
教育フォーラムの軌跡とご案内 <https://www.edu.yamanashi.ac.jp/aepc/2301/>

紀要目次・センターだより
バックナンバー



教職支援室Instagram
(公式)



教育フォーラムの
軌跡とご案内



プロジェクト紹介

実践センターでは、小・中学校での1人1台端末の整備、高等学校「情報I」の必修化など新たな学びへのニーズを受け、「やまなし情報教育推進室」を開室し、情報教育の推進と研究を行っています。



情報免許法認定講習(稲垣講師)

現職教員・本学院生に 情報免許法認定講習の開講

高等学校「情報I」免許取得教員の増加と資質向上を目的として「情報I」の免許法認定講習を開講しました。受講料は大学が全額負担しています。令和8年度まで毎年4科目ずつ開講し、3年間で情報免許取得に必要な単位を修得することができます。初年度となる令和6年度は県内外の現職教員・パーティーチャー、本学大学院生など39名が受講しました。

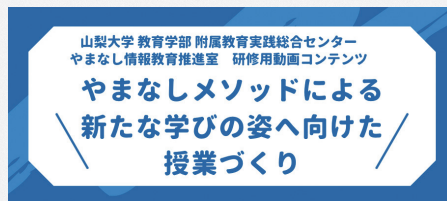
やまなし情報教育推進室HP

<https://www.yamanashi.info/>



現職教員に オンライン研修動画の開発

令和5年度・6年度に文部科学省「新たな教師の学び」に対応したオンライン研修コンテンツ開発事業を受託し、小・中・特の「個別最適な学びと協働的な学びを実現するICTを活用した授業づくり」、高の「やまなしメソッドによる校種間・教科間連携を実現する情報Iの授業づくり」を制作し、推進室HPにて無料で公開しています(要申込)。



オンライン研修動画



山梨大学教育学部附属教育実践総合センター

〒400-8510 山梨県甲府市武田 4-4-37

TEL.055-220-8325 FAX.055-220-8790

E-mail: edjissen-as@yamanashi.ac.jp

<https://www.edu.yamanashi.ac.jp/aepc/>



教育学部
イメージ
キャラクター

梨子ちゃん
と
大福くん

